

作品No.	什宝No.	指定など	作品名称	文政元帳蔵番号	時代	年紀	備考	法量 (cm)	ここをみて！ (鑑賞のヒント)	鑑賞メモ
<b>第1章 大和鍛冶：美濃刀のはじまり</b>										
1	90		太刀 銘 包永	仁1-55	鎌倉			刃長69.8 反り1.7 茎長18.7 鍔元厚0.8 鍔元幅2.8 横手下厚0.4 横手下幅1.9	・鎬高く柁目肌つむ大和伝 ・11代將軍家齊からの結納祝いの品	
2	204		脇指 額銘 包永	礼2-48	南北朝			刃長40.6 反り0.5 茎長11.8 鍔元厚0.5 鍔元幅2.5 横手下厚0.5 横手下幅1.9	・手搦包永の脇指 ・銘を惜しんで額銘に	
<b>第2章 西濃：美濃鍛冶の発祥</b>										
3	68	名物 戸川志津	短刀 無銘 志津	仁2-17	南北朝		小脇指	刃長27.0 反り無し 茎長9.7 鍔元厚0.6 鍔元幅2.4	・『享保名物帳』所載志津7振のひとつ、加賀前田家・將軍家伝来	
4	85	重要美術品	刀 朱銘 兼氏 (花押)	礼1-5	南北朝			刃長68.2 反り2.0 茎長20.6 鍔元厚0.7 鍔元幅3.2 横手下厚0.5 横手下幅2.4	・鞘書に「大志津」とあり、志津三郎兼氏の作か	
5	69		短刀 無銘 志津	仁2-13	南北朝		小脇指	刃長26.1 反り0.3 茎長9.4 鍔元厚0.5 鍔元幅2.1	・駿府御分物 (徳川家康所持)	
6	78		刀 無銘 志津	礼3-3	南北朝			刃長75.1 反り1.4 茎長22.7 鍔元厚0.8 鍔元幅3.1 横手下厚0.5 横手下幅2.1	・尾張家分家の陸奥梁川藩大窪 (大久保) 松平家伝来	
7	286		刀 無銘 兼氏	礼3-84	南北朝			刃長78.3 反り1.8 茎長22.9 鍔元厚0.6 鍔元幅3.0 横手下厚0.4 横手下幅2.1	・尾張家8代宗勝のとき江戸で買い上げ	
8	340		脇指 無銘 直江志津	仁2-44	南北朝		中脇指	刃長47.7 反り0.6 茎長11.8 鍔元厚0.7 鍔元幅3.3 横手下厚0.6 横手下幅2.5	・湾れに尖り刃交じり、後世美濃鍛冶の萌芽	
9	94		太刀 銘 外藤		室町		明治元帳に蔵番号あり	刃長62.9 反り2.1 茎長16.9 鍔元厚0.7 鍔元幅2.6 横手下厚0.4 横手下幅0.4	・西郡鍛冶の作 ・尾張藩士からの献上品	
10	178		脇指 無銘 金重	礼5-84	南北朝		中脇指	刃長46.7 反り0.8 茎長13.3 鍔元厚0.9 鍔元幅3.6	・実質的な関鍛冶の祖の作 ・尾張家初代義直が買い上げ	
<b>第3章 関鍛冶の名工：兼元・兼定</b>										
11	長刀2		長刀 銘 和泉守兼定作	仁2-47	室町			刃長52.1 反り2.9 鍔元幅7.0 幅3.0 茎長41.7	・之定銘の長刀	
12	331		劔 銘 兼定	信2-40	室町			刃長28.5 反り無し 茎長10.2 鍔元厚0.7 鍔元幅2.6	・足定銘の劔、初代作か	
13	1018		刀 銘 兼定		室町		明治元帳に、大正元年当主の手元より表道具へ元入れとあり	刃長70.8 反り1.7 茎長17.3 鍔元厚0.7 鍔元幅0.7 横手下厚0.4 横手下幅17.3	・之定にしては長寸 ・尾張家19代義親が手元に置いていた	
14	2495		短刀 銘 濃州和泉守兼定		室町		平成5年、尾張徳川家寄贈 明治元帳に蔵番号あり	刃長25.8 茎長12.4 内反り 元幅2.3	・尾張家18代義礼長女・米子 (19代義親夫人) のお守り刀	
15	98		脇指 銘 兼元	礼5-10	室町		中脇指	刃長34.6 反り0.6 茎長10.8 鍔元厚0.6 鍔元幅3.2	・孫六兼元の作 ・刀身彫刻は妙法蓮華経の一節	
16	297		刀 銘 兼元	礼4-353	室町			刃長62.3 反り1.8 茎長15.5 鍔元厚0.7 鍔元幅3.0 横手下厚0.5 横手下幅2.0	・尾張家14代慶勝が高須松平家より持参	

作品No.	什宝No.	指定など	作品名称	文政元帳蔵番号	時代	年紀	備考	法量 (cm)	ここをみて! (鑑賞のヒント)	鑑賞メモ
17	370		刀 銘 兼元		室町		昭和14年、定光寺より購入	刃長71.6 反り1.5 茎長17.4 鍔元厚0.6 鍔元幅3.0 横手下厚0.5 横手下幅2.2	・尾張家2代光友4男(天折)から3代綱誠へ、のち7代宗春に伝来	
18	321		脇指 折返銘 兼元	礼6-187	室町			刃長48.8 反り0.8 茎長13.0 鍔元厚0.6 鍔元幅2.8 横手下厚0.5 横手下幅1.9	・兼元銘を借しんで折返銘に ・尾張家15代茂徳正室が二本松藩丹羽家より持参	
19	223		脇指 銘 兼基	信2-72	室町			刃長45.8 反り1.4 茎長12.3 鍔元厚0.6 鍔元幅3.0	・孫六兼元と同時代の関鍛冶、兼元同人とも弟子とも	
20	376		短刀 銘 (菊紋) 兼貞		室町		昭和16年、川路家寄贈	刃長26.7 反り0.2 茎長10.2 鍔元厚0.5 鍔元幅2.3	・戦時中、幕末の旗本・川路聖謨の遺品として寄贈	
<b>第4章 関鍛冶とその派生</b>										
21	187		脇指 銘 兼善	信2-88	室町			刃長31.4 反り0.5 茎長9.4 鍔元厚0.6 鍔元幅2.1	・尾張家6代継友が帯用	
22	289		刀 銘 兼春	礼1-23	室町			刃長68.5 反り1.4 茎長16.1 鍔元厚0.6 鍔元幅3.3	・善定兼吉または兼義の子	
23	330		小脇指 銘 兼高	礼6-165	室町		脇指	刃長29.7 反り0.8 茎長10.8 鍔元厚0.6 鍔元幅2.6	・尾張家13代慶藏が家督相続で江戸藩邸へ移る際に持参	
24	347		短刀 銘 兼常		室町		明治元帳に、大正元年(1912)当主の手元より表道具へ元入れとあり	身長22.6 反り無し 茎長9.1 鍔元厚0.6 鍔元幅2.0	・兼常は織田信長から鍛冶職安堵状を下され、関鍛冶総領事と称した	
25	1114		小脇指 銘 兼法作 木下犬千代丸	信2-6	室町			刃長29.9 反り0.3 茎長10.0 鍔元厚0.7 鍔元幅3.0	・所持銘の木下犬千代丸は未詳ながら、豊臣秀吉家臣の木下(杉原)定利末裔か	
26	260		短刀 銘 兼舛		室町		明治元帳に「元当分御預」、明治5年「御道具懸」より受け取る とある	刃長24.0 反り0.3 茎長9.4 鍔元厚0.5 鍔元幅2.4	・柳新陰流の「懐剣」と記録にある	
27	310		小サ刀 銘 兼在	礼5-116	室町			刃長57.2 反り1.1 茎長15.2 鍔元厚0.7 鍔元幅3.0	・儀仗にふさわしい端正な姿と細直刃	
28	196		脇指 折返銘 兼延	礼5-47	室町			刃長54.6 反り1.4 茎長14.3 鍔元厚0.6 鍔元幅2.7 横手下厚0.5 横手下幅2.1	・兼在の子、尾張志賀へ移住し志賀閑と呼ぶ	
29	333		脇指 銘 兼岩作	信2-100	室町			刃長36.1 反り0.5 茎長11.1 鍔元厚0.7 鍔元幅3.4	・美濃刀に珍しい刀身彫刻	
30	138		刀 銘 村正		室町		明治元帳に蔵番号あり	刃長68.9 反り1.8 茎長15.8 鍔元厚0.8 鍔元幅3.2 横手下厚0.8 横手下幅2.3	・妖刀村正伝説に反し、駿府御分物にもある村正銘(本作が該当かは未詳)	
31	1067		刀 銘 正光		室町		現台帳に、明治初年、城北夜警用として買い入れとあり	刃長68.2 反り2.0 茎長19.1 鍔元厚0.7 鍔元幅2.7 横手下厚0.4 横手下幅1.8	・明治初め、名古屋城夜警用に購入	
32	34		刀 銘 丹波守吉道	仁1-82	江戸			刃長71.3 反り1.2 茎長20.8 鍔元厚0.8 鍔元幅3.2 横手下厚0.5 横手下幅2.1	・帆掛け丹波銘 ・尾張家14代慶勝が孝明天皇より拝領	
<b>第5章 尾張鍛冶：新刀の雄</b>										
33	1113		脇指 銘 若狭守藤原氏房 元亀二年八月日	仁2-82	室町	元亀2 1571	小脇指	刃長28.2 反り無し 茎長10.3 鍔元厚0.6 鍔元幅2.7	・尾張家12代齊荘が実父・11代將軍家齊より御七夜祝いとして拝領	
34	349		小サ刀 銘 氏房	礼6-180	室町		脇指	刃長21.2 反り0.3 茎長9.7 鍔元厚0.5 鍔元幅2.7	・尾張家13代慶藏が実家・田安家より持参、天折した藩主を忍ばせる可憐な作	

作品No.	什宝No.	指定など	作品名称	文政元帳蔵番号	時代	年紀	備考	法量 (cm)	ここをみて！ (鑑賞のヒント)	鑑賞メモ
35	379	重要美術品	刀 銘 相模守政常入道		江戸			刃長73.7 反り1.7 茎長19.1 鍔元厚0.8 鍔元幅3.3 横手下厚0.5 横手下幅未計測	・尾張家16代義直が14代將軍家茂へ献上 ・重要美術品	
36	1045		刀 銘 政常	礼5-140	江戸		脇指	刃長51.0 反り1.7 茎長14.9 鍔元厚0.6 鍔元幅2.4 横手下厚0.4 横手下幅1.8	・政常後代の作 ・尾張家16代義直の指し添え	
37	264		指賀 銘 美濃守藤原政常 延宝八年二月日	信2-45	江戸	延宝8 1680		刃長18.8 反り無し 茎長10.6 鍔元厚1.1 鍔元幅2.4	・小刀の上手として知られた2代政常（美濃守政常）の作	
38	191		小サ刀 銘 政常	礼6-149	江戸			刃長35.9 反り0.9 茎長11.1 鍔元厚0.9 鍔元幅2.3 横手下厚0.4 横手下幅1.7	・尾張家13代慶藏の佩用、幼い藩主にふさわしく小振り	
39	280		刀 無銘 秦光代		江戸		明治元帳に、明治12年に米倉弥太郎（旧藩士）より差上とある	刃長71.9 反り1.2 茎長17.3 鍔元厚0.7 鍔元幅3.0 横手下厚0.5 横手下幅2.1	・尾張藩御流儀・新陰流の柳生巖包の注文打ち ・旧藩士より献上品	
40	1060		刀 銘 肥後守秦光代	礼3-69	江戸			刃長64.6 反り0.3 茎長13.6 鍔元厚0.6 鍔元幅2.8	・柳生家お抱え工の作 ・尾張家7代宗春が帯用	
41	97		脇指 銘 伊藤肥後守秦光代 重胴二以其齒タウリ柳生氏利延所持之	礼5-16	江戸		中脇指	刃長41.6 反り0.9 茎長13.0 鍔元厚0.7 鍔元幅3.7 横手下厚0.7 横手下幅3.5	・おそらく造のような大切先 ・尾張家4代吉道に藩士より柳生巖包指料として献上 ・尾張家14代慶勝が帯用	
42	1061		刀 銘 伯耆守信照	礼3-39	江戸			刃長62.3 反り1.2 茎長16.8 鍔元厚0.9 鍔元幅3.4 横手下厚0.6 横手下幅2.5	・8代將軍吉宗の享保諸国鍛冶御改で挙げられた4代伯耆守信高の後代作	
43	306		脇指 銘 信高信照作 安永 四乙未年八月吉日	礼2-25	江戸	安永4 1775		刃長54.1 反り1.1 茎長14.9 鍔元厚0.7 鍔元幅3.3	・信高・信照父子の合作	
44	274		刀 銘 明和二年乙酉春二月 恭奉命鍛之 伯耆守信高男三 之助信照 明和二年乙酉二月 命劔工信高信照鍛之	礼3-74	江戸	明和2 1765		刃長76.3 反り2.0 茎長22.7 鍔元厚0.8 鍔元幅3.0 横手下厚0.6 横手下幅2.0	・尾張家9代宗睦の下命による合作	
参考			脇指 銘 於武州江戸源正次	礼5-15	江戸			刃長39.1 反り0.6	・光代の脇指とそっくり	